

令和4年度 英語学習実施状況について

金沢市立明成小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和5年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	48.0	24.0	21.0	7.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	86.0	10.0	2.0	2.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	48.0	43.0	10.0	0.0	0.0
問4	英語の授業の内容がわかる。	62.0	29.0	7.0	2.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	40.0	43.0	14.0	2.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	36.0	48.0	17.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	90.0	7.0	2.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	86.0	12.0	2.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	76.0	19.0	5.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	50.0	36.0	7.0	7.0	0.0

②指導改善の具体策(令和5年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・毎時間のターゲットの確認やふり帰りの時間が取れていないことが現状であるため、来年度は重点的に取り組みたい。また、発音やアクセント等の聞き取りを苦手とする児童が見られたため、「聞く」活動の充実をはかりたい。

③学校関係者評価

- ・前年度と比べても、全体的に肯定的な回答の割合が高くなっている。日頃の授業での頑張り、また、全学年がショートタイムを活用し、英語に触れているためであると捉えられる。
- ・英語を書くことにおいては、特に肯定的な意見が多く、今までの学習の積み重ねの成果が表れている。書くことに対して抵抗がなく、自信を持っている児童が多いと感じられる。
- ・話す、聞く、読む活動の否定的な意見が書く活動より多い。そのため、ゴールを全員で共有し、言語活動の場を増やす必要があると考えられる。また、振り返りの充実を図り、ゴールに到達することができたかを毎時間確かめることで、目的意識を持たせて取り組ませる必要がある。